大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２９年１月２３日
No.３４

卓球美郷オープン

８日は、美郷総合体育館リリオスにおいて、「卓球美郷オープン」が行われました。本校卓球部も出場しましたが、大会は個人戦のみで、小学生から中学生、高校生、一般と、たいへん多くの出場

者のいる大会でした。教頭先生が激励に行ってくれましたが、あまりの選手及び試合数に驚いたそうです。

結果として１年生は初戦を突破できなかったようですが、２年生はそれぞれ３回戦まで進出したそうです。頑張れ　卓球部！

海外派遣無事帰国

１月12日は早朝６時30分に、大仙市立中学校生徒海外派遣研修団が帰国しました。

研修団は、市内から選抜された20名の生徒で、１月３日からオーストラリアのマンガリフォールズやケアンズで、ファームスティや自主研修テーマに基づいて研修をしてきました。最終日には、搭乗予定の飛行機の機材の不具合から帰国が一日延びましたが、全員無事に帰国しました。思わぬ一日延長の滞在となりましたが、生徒たちはレポートの整理やプールでのレクリエーションなどで楽しく過ごしたようです。

詳しい報告会は、２月に市教育委員会主催で行われますが、本校から参加した佐々木君と寺山さんには、学級や学年等で機会を捉えてお話してもらいたいと思います。（写真は大曲駅での出発式）

中学生議会　開催

12日には、大仙市中学生議会が３年ぶりに行われました。前回の中学生議会の質問をきっかけに大仙市マスコットキャラクター「まるびちゃん」が生まれた経緯があります。

今回、本校では生徒会長佐々木君と、副会長寺山さんが参加する予定でしたが、海外派遣研修に参加し、帰国が一日延びたことから、生徒会執行部の堀江さんと星宮君に急遽バトンタッチしての参加となりました。

議会では、堀江さんと星宮君が議長を務め、中学生議員の質問や市長をはじめとする市当局者の答弁の進行を取り仕切りました。議場の最上段に位置し、議会を進行した二人は緊張しながらも堂々とした議長ぶりで、後半は楽しかったという感想でした。

また、二人は、最後の質問者としても登場しました。質問は、地元となる旧双葉小学校を改築して、東北の自治体として初めて開設するアーカイ

ブス「公文書館」についてでした。公文書館の機能や中身の充実、とりわけ閉校した学校などの記録も入れてほしい、交通アクセスに配慮してほしい、中学生にも利用できるようにしてほしいなどの要望を含めた質問でした。市からは、総務部長と市長から期待に応えられるようにしたい、交通アクセスについても十分検討したい、という答弁でした。

この後、市の広報などでも詳しく紹介されることと思います。二人は大仙市議会本会議

場で貴重な体験をすることができました。この後の生活に生かしてほしいと思います。関係者の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

中仙カップ招待バレー　準優勝！

冬休みの最後の土曜日となった14日は、中仙カップ招待バレーボール大会が、八乙女交流センターを会場に行われました。

本校を含む８チームによる大会で、本校は予選リーグで、山内中学校、大曲西中学校に勝利し、角館中学校戦も接戦を逆転で勝ち、１位で予選リーグを抜けました。

決勝は本荘南中学校と対戦、準優勝でした。相手のアクシデントに心優しい本校生徒は遠慮したのかなとも思われる試合だったそうです。予選リーグは、これまでの練習の成果を十分に発揮できたとのことです。新年最初の大会で、好スタートです。

1年生　大綱講演会

１月18日は、１年生のふるさと学習として、刈和野大綱引き保存会の高橋会長さんをはじめ、上町（二日町）建元の戸島さん、下町（五日町）建元の吉成さん、西仙北支所地域活性化推進室の新田さんに来ていただき、大綱引きに関する講演を行っていただきました。

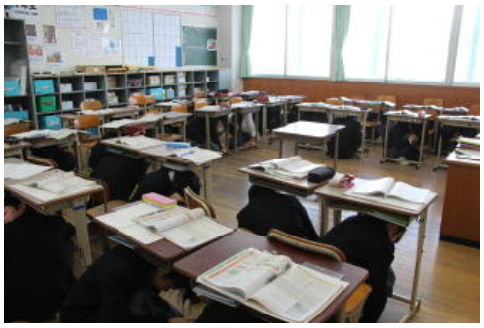
国の重要無形民俗文化財にも指定されている刈和野の大綱引きは、五百有余年の歴史を有し室町時代からの伝統行事といわれます。平将門の一族である長山氏が刈和野に土着し、長山氏に由来した市場の開設権を決めるための祭事として、綱引きが始められたといわれています。現在では上町が勝てば米の値段が上がり、下町が勝てば豊作と、されています。綱の直径は約80センチ、長さは雄綱と雌綱を合わせて約200メートル、重さは約20トンにもなるそうです。日本最大級の大綱引きといわれ、２月10日の夜、古式にのっとり、左右に振られる提灯と「ジョウヤサノー」の掛け声で、町を二分して数千人により引き合われます。

本校では、この大綱講演会や実際の綱よい、綱のばしなどの体験を含め、伝統継承者としての意識の醸成を図る、ふるさと学習として毎年行っています。昨年からは、大綱引き保存会から、中学生用袢纏も作製していただき、積極的に学習に取り組んでいます。今年も５０着の寄贈がありました。また、今年は市で作製した「マンガ刈和野の大綱引き物語」もいただきました。

２月10日の大綱引き当日は、昨年、駅前通りにオープンした「ＨＵＢスペース」も休憩所等として活用し、大綱引き案内人も企画しております。ご期待ください。

大仙市一斉　シェイクアウト訓練

23日は、大仙市一斉防災行動訓練として、シェイクアウト訓練が行われ、本校も参加しました。職場や会社等、また各家庭で参加した方もいらっしゃると思いますが、シェイクアウト訓練とは、大地震が発生したという想定で、あらかじめ決めた時刻に一斉に、参加者の皆さんが「まず低く」、「頭をまもり」、「動かない」の安全行動をとり、いざというときの安全行動を確認するなど短い時間でできる簡単な訓練です。



大仙市では、友好交流都市協定を結んでいる神奈川県座間市の訓練を参考に、一昨年度からシェイクアウト訓練を行っております。「備えあれば憂いなし」、日頃から心がけるとともに、実際の行動に移せるようにしていきたいと思います。体育館では、落下物がない場所を確認して頭を守るようにしました。各教室では、机や椅子で頭や身体を守るのですが、体の大きくなった生徒たちの身の守り方は課題の一つです。また、冬の避難は、非常口と広い駐車場等への通路の確保が一番の課題です。点検の上、備えたいと思います。